

## 2. 2019年度 収支決算書

## 2. 2019年度 収支決算書

2019年度の収支決算書を以下に記す(図表1)。

図表1：2019年度収支決算書(認定医療情報等取扱受託事業者)

(百万円)

		2019	細目説明
1	収入	0	
1-1	認定事業委託費	0	
1-2	その他収入	0	
2	支出	123	
2-1	人件費 (要員数)	19 3	費目:利活用者のニーズに基づき匿名加工医療情報作成等の分析に関わる要員費用
2-2	設備関連維持費用 (要員数)	25 2	費目:セキュリティを考慮したシステム・専用線・データセンタ等の利用・保守・運用に関わる費用
2-3	減価償却費	12	費目:システム等設備投資に関わる減価償却費
2-4	販売費 (要員数)	39 3	費目:医療情報利活用を促進するための営業活動を行う要員費用
2-5	一般管理費	28	費目:事業全体管理を行うための各種管理費用
3	収支	-123	
4	法人税 ※1	0	
5	税引き後利益 ※2	-123	

※1:税率は、30.62%をベースとして算出。

※2:損失については、認定医療情報等取扱受託事業者の他の事業を含めた内部留保による手当てを実施

## 2-1. 収入

### 1) 認定事業委託費(図表1 項番1-1)

匿名加工医療情報作成事業等の収入については、認定取得が2019年12月19日と当初計画から遅延したことに加え、COVID-19による新型感染症の影響もあり、事業活動収入を計上するには至っていない。そのため、当社への配分もなく、収入の計上に至らなかった。

### 2) その他収入(図表1 項番1-2)

今年度収入は発生していない。

## 2-2. 支出

### 1) 要員数

部門別の要員数を以下の通り記す(図表2)。

図表2：部門別要員数

認定医療情報等取扱 受託事業者	分析	3名
	保守運用	2名
	営業、広報対応	3名
	責任者、管理者	6名

### 2) 人件費(図表1 項番2-1)

人件費は、分析要員に関わる費用を示す。

2019年度は利活用者のニーズを満たす症例数を確保出来ておらず、匿名加工医療情報の作成・提供代行の業務は発生していないが、症例数が確保した際の案件数見込みと分析要員の育成の観点から、3名の体制を確保している。(図表2)

2019年度の人件費は、分析要員におけるマスタデータ登録等の分析に関わる準備業務の稼働を計上しているが、認定事業外の業務に関する稼働は計上していない。

### 3) 設備関連維持費用及び減価償却費(図表1 項番2-2、項番2-3)

設備に関しては、データセンター費用として認定事業を行うシステムを管理するデータセンター費用を、システム費用としてサーバ等のシステム機器・各種アプリケーション・ネットワーク(専用線)・当該システムの運用保守(運用保守要員の費用を含む)に関わる費用を、また、セキュリティ費用として、各種セキュリティ対策に関わる機器や第三者審査に関わる費用を計上しており、これらについて当該システムを構築する費用を減価償却費として、一方でライセンスの維持を含めた継続維

持費用として設備関連維持費として計上している。

本法律に基づく事業においてはクラウドデータセンターの活用はガイドラインにおいて認められていないことから、認定医療情報等取扱受託事業者は、オンプレミスのデータセンターに専用機器を設置している。また、本事業において取り扱う情報規模を鑑み、大容量データの保存・処理に必要なサーバを構築するとともに、ガイドラインで規定される多岐のセキュリティ事項に対応するための専用線費用、セキュリティソリューションの導入等を行ない、運用保守要員を確保しながらシステムの維持を行っている。

#### 4) 販売費、一般管理費(図表1 項番2-4、項番2-5)

認定事業の遂行においては、当該データの活用が見込まれる利活用者に対する情報提供や要件の確認といった、活用の前提となる啓蒙活動、要件事項の整理と契約調整のための営業要員が必要となる。営業要員は分析に関わる要員と同じ考え方にに基づき、本事業で提供する匿名加工医療情報と統計情報の件数に基づき必要な要員数が確定する。利活用を滞りなく遂行するため、事業開始となる2019年度は3名体制から開始している。(図表2)

将来、案件数の伸びに応じて要員増強を図る予定である。管理費については、全体の支出要素における割合として一定費用を計上している。将来、要員数やシステム規模の拡張に応じて増大する見込みである。